

# 「平湯道」下り山行

2016.7.20 (水) 晴れ N・D・Kさんと

天気が良さそうなので急遽1 昨年の9月にNさんと歩いた「平湯道」を又下る事にする。7/13に苫小牧市内で追突されて、むちうち症状の身で湿布薬を貼って静養中の身ではあるが日帰りで軽身なので。

自宅 4:45 (Nさんの車で) ~ (D・Kさん宅を回り) 6:15 平湯温泉バスターミナル 6:40 ~ (バス) 7:40 乗鞍岳畳平 7:50~8:20 平湯道入り口~10:30 権現神社 10:55~14:00 平湯温泉 (ひらゆの森で入浴) 15:05~16:55 帰宅。

このコースは一昨年歩いて穂高連峰・笠ヶ岳等を展望しながら下る事に感激し、花の時期にもう一度歩きたいと思っていた。さすがに平湯温泉は涼しい、長袖でも寒い感じでバスは暖房していた。畳平の池には全く残雪が無い、例年なら沢山あるのに。

畳平

側溝脇に高山植物が咲く。



舗装道路を下ります

下山口の標識



## 案内図



平湯道の入り口は舗装道路をかなり戻った所にある。舗装道路脇やその側溝脇に高山植物が沢山咲いているのはちょっと違和感があったが見応えはあった。平湯道の入り口には自転車で登って来た人がいた。バスでは10人以上の自転車組を追い抜いてきたが。オプションの装置まで入れると自転車に50万円はかかったと言った。此处から平湯温泉は基本的に下りになる。距離は10KM, 標高差1400Mで膝に悪いコースだ。少し歩くとシクナゲ・コマクサ・ミヤマダイコンソウ・ツマトリソウ・ゴゼンタチバナ・チングルマ・ミヤマカラマツなどが咲いているが予想より種類や数が少ない。ちょっとガッカリしたが笠ヶ岳～槍ヶ岳～前穂高岳や焼岳を常に眺めながら下るこのコースは展望を楽しむには素晴らしいルートだと思う。登りの区間は硫黄岳(2554M)へのなだらかな登りだけで、基本的に下り一方のコースなので、体力の無い人には恰好のルートだ。ただ私のように膝が弱ってきた人には厳しいコースである。

### ミヤマダイコンソウの群生



### 硫黄岳へ



姫ヶ原付近が高山植物の宝庫ではと思っていたが、今はロープで通行止めになってはいるが予想以下の感じだった。その先で平湯温泉街を見下ろす箇所に出るが、左下の大滝沢沿いにかけては「土俵ヶ原～猿飛八丁～大谷川原鉦山跡～アンパ毒水～平湯大滝滝見台～平湯温泉」と登山道があったようだが今は廃道化しているようだ。(私の2003年版の山と高原地図には破線で記載されているが、「近年整備が行われず通行困難」と書かれています)

「乗鞍山大権現」は十石山(2525M)やその先白骨温泉への登山道の分岐になった所にある。広場があり、乗鞍岳を眺めながらの休憩に良い場所だ。早昼を食べてユックリ休憩する予定だったが、欠点は日陰が無く暑いので食事後すぐに下山する。此处から先はお宮詣りも含めて平湯温泉

側から登る人が多いせいか道幅もやや太くなり、整備状況も良い。但し急坂が多くなる。樹林帯も多くなり、花も少なく単純な見どころの少ないコースになる。

コマクサ



姫ヶ原へは通行止め



前穂～奥穂～槍、手前は焼岳



槍～中央は笠ヶ岳、焼岳



権現神社



十石山分岐



スキー場上部に出ると平湯温泉も近くなるが、此処からのスキー場内の下りが膝に悪い道で一気に嫌気が増す。元気なのは下りに強いNさんのみ。私と女性陣は下りの連続で疲れた膝にトドメを刺すような下りで閉口した。そんな中Nさんは何と走って下って行った。私より数歳上でお元気だし、何と我々3名の疲れを悟って何と平湯温泉の駐車場からスキー場入り口まで車を回してくれた。気使いの凄い人で感激した。

スキー場



美味かった



下山後は大好きな「ひらゆの森」でユックリ入浴した。露天風呂が7カ所もある設備の良い温泉で入湯料500円を堅持しているのも好感が持てる。風呂から出てロビーに来たら何とNさんが缶ビールを私に飲めと勧めてくれた。運転手のNさんには申し訳ないが「気使いのNさん」にまたまた感謝して有難く頂きました。何と「サッポロ 北海道生搾り」。最高に美味しかったです。有難うございました。マイナーなコースですれ違ったのは単独行の2名のみでした。